

研究に関する情報公開について

研究課題	Neutral alignment medial open-wedge high tibial osteotomy (NA-MOWHTO) 後 2 年成績に関連する因子の検討 — posterosuperior popliteomeniscal fascicle (psPMF) 損傷、脛骨側軟骨損傷、術後 1 年疼痛に着目した後ろ向き観察研究 —
研究機関の名称	社会医療法人友志会 石橋総合病院 整形外科
研究責任者	高橋 恒存
研究対象者	2018 年 4 月から 2023 年 4 月までに、当院において neutral alignment medial open-wedge high tibial osteotomy (NA-MOWHTO) を受けられた方を対象とします。
研究の目的・意義	内側型変形性膝関節症に対する medial open-wedge high tibial osteotomy (MOWHTO) は、関節温存を目的とした代表的な治療法です。近年では、過度な外反矯正を避けた neutral alignment を目標とする術式も注目されています。 一方で、NA-MOWHTO 後にどのような症例が良好な中期成績を得られるかは、十分に明らかになっていません。特に、術中関節鏡所見としての popliteomeniscal fascicle (PMF) 損傷、軟骨損傷の程度、ならびに術後早期の疼痛状態が、術後成績にどのように影響するかは重要な課題です。 本研究では、当院および関連施設における NA-MOWHTO 症例を対象に、 ・術後 2 年時点での良好成績達成率を明らかにすること ・術後 2 年良好成績に関連する因子 (年齢、性別、体格、術前アライメント、術中 PMF 所見、軟骨損傷の程度、術後 1 年疼痛など) を検討すること を目的とします。 本研究により、NA-MOWHTO の適応判断、術中評価、術後フォローアップ体制の改善に寄与することが期待されます。
研究方法	対象の患者様の診療録、画像記録、手術記録、関節鏡所見記録から情報を抽出し、統計解析を行います。 本研究では患者様から新たな情報の提供は頂きません。
研究期間	石橋総合病院倫理委員会の承認を受けてから 2027 年 5 月末まで。
研究に使用する情報	患者様の診療録より以下の情報を使用します。 【基本情報】 年齢、性別、身長、体重、BMI、患側、使用インプラント 【術前評価】 疼痛 Numerical Rating Scale (NRS)、膝関節屈曲可動域、% mechanical axis (%MA)、hip-knee angle (HKA)、medial proximal tibial angle (MPTA)、posterior tibial slope、Kellgren-Lawrence 分類 【術中関節鏡所見】 anterior / posterosuperior / posteroinferior popliteomeniscal fascicle (PMF) の損傷有無、外側半月板 hypermobility の有無、外側半月板形態異常の有無、前十字靱帯所見、内側半月板損傷の有無、内側半月板後根損傷の有無、各コンパートメントの軟骨損傷 (Outerbridge 分類)

研究に関する情報公開について

	【術後評価】 術後 1 年疼痛 NRS、術後 1 年膝関節屈曲可動域、術後 1 年 %MA、術後 2 年疼痛 NRS、術後 2 年膝関節屈曲可動域、術後 2 年 %MA 【主要評価項目】 術後 2 年時点での良好成績達成の有無 (疼痛 NRS 1 未満 かつ 膝関節屈曲 120° 以上)
研究に関する情報公開の方法	対象の方でご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の資料などを閲覧または入手することが出来ますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人が特定できないように、研究責任者が病院 ID、氏名、生年月日の情報を削除し、個人の特定できる情報は新たな符合に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリテーション部門内で厳重に保管します。新たな符合と個人を特定できる対応表を同様に厳重に保管します。また研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。
研究組織名称	社会医療法人友志会 石橋総合病院 整形外科 高橋恒存(研究責任者)
問い合わせ先	【研究責任者】 社会医療法人友志会 石橋総合病院 整形外科 高橋 恒存 〒329-0596 栃木県下野市下古山 1-15-4 電話:0285-53-1134